

個性を力へ。

甲南大学

国際交流センター

KONAN INTERNATIONAL EXCHANGE CENTER

▶ ENGLISH ▶ 中文/CHINESE ▶ 資料請求 ▶ お問い合わせ

HOME

海外で学びたい学生へ
(留学プログラム)日本で国際交流したい学生へ
(交流プログラム)

ホストファミリー

海外協定校

国際交流センターについて

2012年度エリアスタディーズV(マレーシア・マラヤ大学コース)現地学習実施！

12.09.14 TOPICS

2012年8月28日(火)～9月3日(月)にマレーシア・マラヤ大学コースの現地学習を行いました。

マラヤ大学Centre for Civilisational Dialogue(以下、CCD)のZuraidah Abdulah副所長の挨拶、マラヤ大学ユネスコ・クラブのメンバーである大学院生や学生による環境保全活動や文化交流活動の紹介がありました。

その後CCD主催の公開講演会(Public Lecture)が行なわれ、谷口文章教授(文学部)が、マレーシア先住民族ジャクン族の生活の知恵から学ぶ、自然調和型のライフスタイルについて講演されました。午後からは、Ashari Yakub氏にお話をいただき、多くの観光客がエンダウ・ロンピン国立公園を訪れることによって、近年、公園内の野生生物の種が減少していることが問題提起され、エコツーリズムの可能性について話題提供をしていただきました。

授業終了後は、ユネスコ・クラブの学生にキャンパスのなかを案内してもらい、自然誌博物館(ボタニカル・ガーデン)を散策しました。その夜は、地元のマレー料理のレストランで盛大なパーティーが催され、マラヤ大学の先生方、学生との親交を温めることができました。

その後ジョホール州エンダウ・ロンピン国立公園(2泊3日)で、ジャングル・トレッキングなどのフィールド・アクティビティを行いました。おもに熱帯雨林の植生の観察や生態系調査をしました。ジャクン族の人々は、自然からの恵みを過度に搾取するのではなく、必要な分だけを探ってきて、自然の素材を加工し衣服や食、住居に活用しています。そうした自然と調和したライフスタイルを実際に見せてもらい、ラタン(籐)の加工方法や伝統料理の調理方法を実演してもらいました。

最終日は、クアラルンプール市内で国立モスク、イスラム美術館、王宮(イスタナ・ネガラ)やパティック工場を訪れました。イスラム教に根づいた文化や伝統工芸を見学しました。

マラヤ大学コースは、現地の講義とフィールドワークという2つの柱からマレーシアの多民族や多文化性を体験しました。お互いの文化を尊重することによって多文化が創造されていることを実感することができました。



エリアスタディーズV①



エリアスタディーズV②



エリアスタディーズV③

↑ PAGE TOP

甲南大学国際交流センター 〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1 TEL:078-452-1641 FAX:078-435-2557

[開室時間]月～金: 9:00～18:00 土: 9:00～13:00

Copyright(C)2010. KONAN International Exchange Center. All Rights Reserved.

甲南大学トップへ戻る ↓